

# 町長室から

越生町長  
新井 康之



## 卒業式・卒園式行われる

3月は旅立ちの月です。町内の各園・学校で卒園式・卒業式が行われ出席しました。  
越生保育園の卒園式は3月25日（火）、越生みどり幼稚園の卒園式は3月15日（土）に行われました。各卒園児は歌を一生懸命歌い、またお母さんやお父さんに今までのお礼を言う等、その純真さに感動しました。中には泣きながら言う園児もいました。  
梅園小学校・越生小学校の卒業式は3月24日（月）に行われました。両校の卒業式は同じ日のため、今年は越生小の卒業式に出席し、梅園小の卒業式は副町長が出席しました。  
越生小の卒業生はしっかりと規律ある行動でした。梅園小の卒業生は、英語と日本語で決意表明をしたとのことでした。  
越生中学校の卒業式は3月14日（金）に行われ、卒業生が毎日通った通学路の梅が満開に咲き卒業を祝っているようでした。9年間の義務教育を終え、恩師や友、学び舎との別れを惜しむ姿が印象的で、皆立派に成長して素晴らしい卒業式になりました。卒業生たちをいつまでも応援していきます。

## 梅まつり盛況、魁雪が越生町の天然記念物に

越生梅林梅まつりは2月15日から3月16日まで行われました。今年は気温がだいぶ低く開花が遅れましたが、テレビの6社で放映されたためか去年をうわまわる48,225人（有料入園者数）の観梅客が訪れ、盛況のうちに幕を閉じました。

なお、梅林内には樹齢670年と推定される「魁雪」があります。一般的に木は樹皮がないと枯れてしましますが、この魁雪は数本ある幹のうち1本は樹皮がラセン状に幹の上までつながって生きていて花を咲かせる珍しい木です。私はこの魁雪を文化財にならないかと思い、教育委員会を通じて越生町文化財保護委員会に諮ったところ、同意をいただきました。その結果この名木魁雪は令和7年1月9日、越生町指定文化財（天然記念物）に指定されました。

魁雪は現在でも実をつけていますので、この実を毎年活用しています。貴重ですので、今後は更に活用したいと思います。

このように、越生町には、普段見逃されている「宝」が沢山ありますので、今後もこの「宝」を再発見してブラッシュアップしていきます。



## 安中で全国梅サミット開催、会長に選任される 来年は越生で開催

第30回全国梅サミット協議会が去る2月21日（金）・22日（土）に群馬県安中市で開催され出席しました。この総会で私は令和7年度の同協議会の会長に選出されました。そして、来年は全国梅サミットを越生町で開催することが決定されました。

全国梅サミットとは「梅」を共通の資源とする加盟市町相互の情報交換や人的交流等を行うことにより、梅を生かした観光文化の振興と梅関連産業の発展を図り、もって地域振興に寄与することを目的として平成9年に結成されました。全国13市町が加盟しています。

越生町での全国梅サミットを成功させ、また「越生べに梅」の優れた特性をアピールして、梅が観光の中心であることを紹介し、また参加市町が梅の観光をどのように取り組んでいるか等を参考にしたいと思っています。



「ふるさと新聞広告コンテスト」にて優秀賞を受賞しました  
浅見さん、優秀賞受賞おめでとうござい  
ます。  
応募した経緯と、作品に力を入れたところ、意識した事を教えてください。  
（浅）ありがとうございます。  
埼玉新聞を購読していて、広告欄にコンテストの記事が目に入りました。普段から越生町を推しているの、記事を見た瞬間に、応募したい！と思いました。  
数年前から、越生町の魅力は水だと思っていました。都市は不動産価格があり、わかりやすい価値があります。黒山三滝の湧き出る水は、命の源であり、エネルギーが溢れていると思っています、その価値を表現できたらと考えました。  
撮影した女性スタッフはカフエのスタッフですが、「ジブリに出てきそうな雰囲気（笑）」と伝えたところ、おばあちゃんが着ていたワンピースを着てくれました。これでノスタルジックな良い雰囲気が出たと思っています。



オクムサ・マルシェ  
越生町小杉 756  
Tel. 080-9973-5457

（浅）お店の来店者や地元の方からも「受賞おめでとう！」と声をかけてもらいました。  
私は都内のデザイン会社に就職し、越生を離れていた時、越生に帰ってくると、空気の美味しさや自然が奏でる音の美しさなどで、心身が満たされリフレッシュできました。  
越生町には越生梅林など、梅のシーズンにきたことがあるという方が多いですが、他の時期にも魅力があると思っています。  
オクムサ・マルシェからも越生町の魅力を発信し、越生町の入り口のようなお店になればと思っています。

受賞による反響や  
今後の展望について教えてください

越生町はリフレッシュできる土地

※埼玉新聞社創刊80周年に合わせた新聞広告賞。埼玉県内63市町村を題材に、その自治体の魅力を新聞広告として表現してもらうコンテスト。